

第23号 地域医療連携室だより



発行: 2012/6/25

三河のつぶやき

下に勉強会の連絡を載せています。これまでも当院内ではコメディカル向けの勉強会をやっていて、地域の皆様にも開放していたようですが、周知がたりずご参加いただけませんでした。今、安房地域医療センターでがん・緩和勉強会を開催したところたくさんの方にご参加いただいております。南房総にお住まいの皆様のためにも、これからも皆様とともに学んでいけるように開催を通知させていただきますのでご参加をご検討いただければと存じます。



地域医療連携室
室長 三河 貴裕

マイブームは
「洗濯洗剤と柔軟剤選び」です。

暑い夏、汗だくの毎日です。最近、私は洗濯洗剤や柔軟剤の「香り」にこだわっています。通りすがりやエレベーターなどで、ほのかな良い香りのする方に出会うとうっとりしてしまいます。たまに良い香りの方に「洗剤は何を使っていますか?」と質問することもあり、変な人だと思われるかもしれませんが。ちなみに、現在のお気に入りの洗剤は「トップ・ホワイトローズの香り」。数量限定なので買いためをしました。仕上げに柔軟剤「ソフラン・ブルーローズの香り」を入れています。最近では、色々な香りがあり、選ぶのに時間がかかってしまいます。ドラッグストアで、「香り見本」を何度も嗅いでいる人を見かけたら、私かもしれません。洗濯物をたたんだりアイロン掛けも、良い香りに包まれ幸せな気分になれる最高の癒しの時間です。

ペンネーム: さらさ

TOPICS

亀田総合病院 院内がん看護勉強会のご案内

TOPICS

亀田総合病院では院内看護師向けに、がん看護勉強会「基礎コース」「応用コース」を開催しております。このコースが地域の皆様にもご参加いただける運びとなりました。既にスタートしておりますが、今後のスケジュールを以下に記載いたします。安房地域医療センターでの勉強会に参加が困難な方、またはそちらと併せてのご参加も可能です。ご興味のある方は、是非ご参加下さい。単発でのご参加も受け付けております。(時間: 18:00 - 19:00/場所: 亀田総合病院教育棟3階研修室) *詳細・お申込は同封の資料をご覧ください

基礎コース

- 7月9日(月) 化学療法を取り扱う看護師の役割
- 8月6日(月) スピリチュアルケア
- 9月28日(月) がん性疼痛以外の症状マネジメントにおける看護ケア
- 10月12日(月) 患者・家族の思いに寄り添うコミュニケーションスキル
- 11月5日(月) 地域医療における看護ケア
- 12月3日(月) 家族ケア
- 1月18日(金) 精神症状への対応について

応用コース

- 7月2日(月) リラクゼーションを体験し症状緩和の二つとして提供できる
- 8月13日(月) スピリチュアルケア(応用編)
- 9月3日(月) 臨死期のケア
- 10月1日(月) リラクゼーションを体験し症状緩和に繋げる
- 11月26日(月) 地域医療、在宅での緩和ケア
- 12月17日(月) 症状マネジメント(浮腫ケアマネジメント)

基礎・応用コース同時開催

- 2月22日(金) 化学療法/放射線治療における看護師の役割

* 外部講師をお招きしての講演会形式です 時間: 18:00-19:30 場所: Kタワー13階ホール

地域における看護職の連携

看護管理部 部長 丸山 祝子

日頃から地域の医療・介護施設には多大なるご協力を頂いており感謝致します。私は昨年度から千葉看護協会安房地区部会の役員をさせて頂くことで、地域の病院・訪問看護ステーション・健康福祉センターの方々とお会いすることも多くなり、色々な情報を交換することができるようになりました。少子・超高齢社会の到来、いわゆる2025年度問題に向けて、住民のニーズに応えられるよう、地域全体で患者さまを支える体制を構築していくことが必要だと思っています。

看護職の共通する課題は、人員確保と看護の質の向上だと思っています。なかなか地域柄、看護職の外からの入職は厳しい状況ですから、いかに今いる職員がこの安房地区に残るかが重要です。やりがいを持って生き生きと働き続けられるよう労働環境の改善に取り組んでいかなければならないと思っています。また、少ない人数で多くの患者さまに質の高い看護を提供していくためには、チーム力の強化が不可欠です。チーム医療のキーパーソンになる看護職の能力向上が重要です。地域全体で医療・介護現場における看護の質を上げていくことで、お互いの施設の役割機能分担ができ、連携がスムーズにいくように思います。そのために、安房地区部会でも勉強会や研修会を開催しています。また当院では、様々な分野の専門・認定看護師が地域の看護職の方々の相談を受けられるようコンサルテーション機能を整え、案内をお渡ししたところ、いくつかの施設から、勉強会の開催や日々の業務の相談などを受けております。こうした取り組みを積み重ねていくことで、地域全体の看護の質が向上し、看護職のやりがいを見出し、定着にも結びついていければと願っています。

厳しい状況ではありますが、このような時だからこそ地域のつながりを強め、看護の力を集結し、この地域から看護の力を発信できたなら良いと思っています。これからもよろしく願い致します。

安房地域医療センター救急棟のオープン



安房地域医療センター
院長 水谷正彦先生

安房地域医療センターに新しく救急棟がオープンしましたので、この紙面を借りてお知らせします。来院する救急患者数が年間23,000人を超え、以前の救急室が手狭になってきていました。救急室の拡充の必要性から救急棟が設計され昨年から建築を進めてきていましたが、この5月7日にオープンすることができました。1階には北米型をイメージした救急センターを配置しています。ウォークインの患者様にはまずトリアージ室でトリアージを受けていただき、次にナースステーションを中心に配置された診察室、そして処置室で救急診療を受けていただきます。救急車で来院の患者様は、処置室にあるいは救急治療室へ直接入っていただきます。感染のある患者様は直接感染室に入っていただくこととなります。専門治療が必要となった場合には、専門科での治療へ引き継がれます。また、奥には集中治療室を設けています。

2階には透析センターと医局が並びます。透析センターには31床を用意し、新たにオンライン透析も始めました。医局は個室化せず、オープンスペースとなっています。3階には外来リハビリテーションセンターと会議室を配置しました。外来リハビリテーションセンターは、これからはますます増えると考えられるリハビリ需要にこたえるため、広い空間をとりました。ベランダにはターントラックも設置し、スポーツ整形のリハビリに備えました。

近隣の施設からの受診依頼にも広くこたえられるようになるものと考えます。しかし、救急患者様の増加は、入院患者数にも影響し、現在の入院ベッドではやりくりできない場合が想定されます。近隣の入院施設のある病院との病病連携も、退院後の病診連携も今まで以上に大切になってくると考えますので、これからもよろしく願いいたします。



救急棟

本館